

授業科目名 ( 英文名 )	武道 ( Material Arts )	科目区分 対象学生	
単位数	1.0	開講年次・ 学期	3年生・前期
担当教員	内田 勇人	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>武道の中の柔道を学ぶ上で、受け身、足技、腰技、抑え技について学ぶことは重要である。本演習では、技の修得を通して、柔道に対する伝統的な考え方、それに基づく行動の仕方、礼節を身につけ、相手を尊重する態度、安全に留意する態度に対する理解を深めることを目的とし、武道、柔道の概念やそれを取り巻く課題について論究する。あわせて、将来の指導者として、柔道を実施するにあたっての安全管理に対する知識を総合的に高める。</p> <p>本演習の到達目標は、1) 受け身、足技、腰技、抑え技の技術を修得すること、2) 礼節、安全に対する知識、態度を理解し、指導できる技術を修得すること、である。</p>		
講義内容・授業計画	<p>柔道は柔術から発展したものであり、明治15年に嘉納治五郎によって創始された。日本が発祥の地である柔道は、オリンピックの正式種目になるとともに、世界の柔道として発展・拡大してきた。本演習では、柔道の技術はもちろんのこと、柔道にみられる武道の精神性についても講述する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の進め方等の説明</li> <li>2. 柔道の歴史</li> <li>3. 柔道の歴史技術内容 ( 受身、技 )</li> <li>4. 受身の練習：前回り</li> <li>5. 受身の練習：横、後ろ</li> <li>6. 手技：背負投げ、一本背負投</li> <li>7. 手技：体落</li> <li>8. 腰技：大腰</li> <li>9. 腰技：浮腰、払腰</li> <li>10. 足技：小外刈、小外掛</li> <li>11. 足技：大外刈、大内刈</li> <li>12. 足技：内股、内股返</li> <li>13. 既習技を使つての自由練習</li> <li>14. 既習技を使つての試合</li> <li>15. まとめと評価 ( 到達度の確認 )</li> </ol>		
テキスト	特に指定しない。適宜資料を配布する。		
参考文献	橋本敏明、柏崎克彦共著：柔道・特装版、ベースボールマガジン社。( 図書館にあり )		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 柔道の技術、指導法を理解し、受け身、足技、腰技、抑え技の技術を修得した者に単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力 ( 知識・技能、判断力、表現力等 ) の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>成績評価の方法 レポート50%、技術到達度50%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	履修にあたっては、十分に筋力、持久力を身につけて演習に出席すること。柔道競技で頻発する怪我とその予防法について学習しておくこと。		
実践的教育	該当しない		
備考	特になし。 本学の配布資料等を参照してください。		